

個別事業進行管理表(平成27~28年度)

計画の位置付け	No	事業名	実施主体	概要	平成27年度	平成28年度
基本目標1 「市民が利便性を実感できる行政サービスを目指します」	1	証明書自動交付拡充の推進	区政支援課	<p>【事業内容】 コンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン及びナチュラルローソン、サークルKサンクス、ファミリーマート等)において、個人番号カードを利用した住民票等(住民票の写し、印鑑登録証明書)の証明書交付サービス(コンビニ交付)を平成28年1月に開始する。 また、平成29年4月からの戸籍関連証明書の交付開始に向けてシステムを構築する。</p> <p>【主な実績】 ・個人番号カードを利用した住民票等(住民票の写し、印鑑登録証明書)の証明書交付サービスを平成28年1月から開始した。 ・戸籍関連証明書(戸籍及び戸籍の附票)を交付するためのシステムの仕様検討(要件定義)を行った。</p>	<p>住民票・印鑑登録証明書</p> <p>システム構築 → 稼働</p> <p>戸籍・戸籍の附票</p> <p>仕様 → システム構築</p>	
	2	行政情報の提供・配信の充実	広聴広報課、情報政策課、データ所管課	<p>【事業内容】 ・市ホームページのコンテンツを見直し、拡充を図る。 ・市ホームページ内のオープンデータライブラリにおいて、オープンデータの公開をさらに進め、市民や企業等のデータ活用を促進する。</p> <p>【主な実績】 ・市ホームページに自動翻訳システムを平成27年7月に導入し、多言語(英・中・韓)版を公開した。 ・市民カメランサイト(特設サイト)のスマートフォン版を平成27年9月に公開した。 ・オープンデータライブラリへの公開データとして1種類4データを追加した。(計16種類37データ) ・「さがみオープンデータデイ2016」をさがみオープンデータ推進研究会主催により平成28年2月に開催した。</p>	<p>市ホームページの見直し・拡充</p> <p>オープンデータの拡充</p>	
	3	アクセシビリティ向上の推進	広聴広報課	<p>【事業内容】 市ホームページについて、新たに改訂されたJIS規格に適合するよう試験を行い、改善を図る。</p> <p>【主な実績】 平成26年度に実施したJIS試験の結果に基づき、市ホームページの改善すべき点657か所を修正した。</p>	<p>ホームページの改善</p> <p>JIS試験</p> <p>ホームページの改善</p>	
	4	子ども・子育て関連情報の充実	広聴広報課、こども青少年課	<p>【事業内容】 ・平成27年4月に開設した子ども向けホームページ「さがみはらキッズ」のコンテンツを拡充する。 ・協働事業提案制度により、1歳未満の乳児の保護者に向けて子育て支援情報をメール配信する「産後きずなメール」の配信対象年齢を拡充する。</p> <p>【主な実績】 ・「さがみはらキッズ」を平成27年4月に開設し、追加コンテンツとして平成27年11月に仕事紹介ページ、平成28年2月に生き物紹介ページを公開した。 ・「産後きずなメール」について、平成28年度から「さがみはら子育てきずなメール」に名称変更し、配信対象者を拡充(妊婦及びその家族、3歳未満の乳幼児の保護者)することを決定した。</p>	<p>サイト開設</p> <p>コンテンツの拡充</p> <p>産後きずなメールの拡充検討</p> <p>配信対象年齢の拡充</p>	
基本目標2 「ICTの活用により、住みやすく、活力あるまちづくりを目指します」	5	まちの顧客発にぎわい情報の発信事業	商業観光課	<p>【事業内容】 商店街や各店舗の魅力を市と市民団体が協働して、インターネット等の様々な媒体で情報発信するためのホームページを開設する。</p> <p>【主な実績】 ・商店街や各店舗の魅力を情報発信するためのホームページ「CHORUS(コーラス)ーエンジョイサガミハライフ」を平成27年10月に開設し、商店街を中心とした個店の取材内容を掲載した。</p>	<p>ホームページの開設</p>	
	6	気象観測システム及び気象情報システム(マイコス)の改修	緊急対策課、指令課	<p>【事業内容】 気象観測システムの機器更新に伴い、現在、市域に14か所ある計測地点に5か所を追加し、当該地点に雨量計を設置する。また、気象情報システム(マイコス)についても表示地点のシステム改修を行う。</p> <p>【主な実績】 ・平成28年1月に気象観測システムの機器更新を行い、併せて市内5か所に雨量計を追加設置した。 ・平成28年3月に気象情報システムの改修を行い、市が追加設置した雨量計5か所及び気象庁が追加設置した雨量計1か所で計測した雨量情報について、「相模原市気象情報」サイトでの追加配信を開始した。</p>	<p>気象観測システム</p> <p>機器更新・雨量計追加</p> <p>稼働</p> <p>気象情報システム</p> <p>システム改修</p>	

個別事業進行管理表(平成27～28年度)

計画の位置付け	No	事業名	実施主体	概要	平成27年度	平成28年度
基本目標3 「ICTの的確な利活用を図り、行政の効率化を目指します」	7	「業務・システム全体最適化」事業	情報政策課	<p>【事業内容】 主にホストコンピュータにより運用している基幹システムについて、平成28年度に共通基盤システムや住民記録・保険年金等の業務システムを構築し、平成29年度に税・保健福祉等の業務システムを構築する。住民記録・保険年金における業務システムの設計においては、窓口所管課間で情報共有する機能についても検討し、窓口サービスの向上を図る。また、個別の業務システムについては、ハードウェア等の集約化を推進する。</p> <p>【主な実績】 ・住民記録、保険年金、総合収滞納、戸籍、課税の各業務システムの構築事業者を決定し、平成26年度に構築事業者を決定した共通基盤システムも含めて、システム構築作業を行った。(課税は平成27年度末の決定であり、構築作業は平成28年度から着手) ・個別の業務システムへの影響調査を行い、その中で共通基盤システムのハードウェアやソフトウェアを用いて稼働するシステムを決定した。</p>		
	8	新しいデバイス機器の導入	情報政策課、下水道保全課、総合学習センター	<p>【事業内容】 ・職員が業務において利用するためのスマートフォン、タブレット端末等に関するガイドラインを作成する。 ・現場での下水道台帳の閲覧を効率的に行うため、タブレット端末の利用を開始する。 ・一部の小中学校(モニター校)にタブレット端末を試験導入し、ICT機器を活用した情報教育の実証研究を行う。</p> <p>【主な実績】 ・下水道調査事務で取り扱う下水道台帳データの作成を行ったうえで、平成28年3月にタブレット端末を3台導入した。 ・小中学校(各2校)においてタブレット端末を導入(各校16台ずつ)し、一部の授業(算数・数学)で試験的に活用するとともに、「さがみはら教育第160号」に研究成果を掲載した。</p>		
	9	校務支援システムの導入	総合学習センター	<p>【事業内容】 中学校の校務の効率化を図るため、校務支援システムを導入する。平成27年度にシステムを構築し、平成28年度に全中学校で運用を開始する。</p> <p>【主な実績】 ・校務支援システムを構築し、中学校14校での試験運用を行った。</p>		
その他 (計画の推進に当たって)	10	ICT人材育成関連事業	情報政策課	<p>【事業内容】 基幹システム最適化による新システムの稼働や、ICTの動向を踏まえ、現行のICT人材育成方針を見直し、新たな方針を策定する。また、この方針に基づいたICT研修計画についても策定する。</p> <p>【主な実績】 ・平成28年3月に新たなICT人材育成方針を策定した。</p>		
	11	情報セキュリティ関連事業	情報政策課	<p>【事業内容】 ・職員向けに標的型メール攻撃対応訓練を実施する。 ・現行の情報セキュリティ内部監査制度を変更し、平成28年度から新たな制度を開始する。</p> <p>【主な実績】 ・約4200人の職員を対象に、標的型メール攻撃対応訓練を平成27年10月から12月にかけて実施した。 ・情報セキュリティ監査方針を平成28年5月に策定した。</p>		